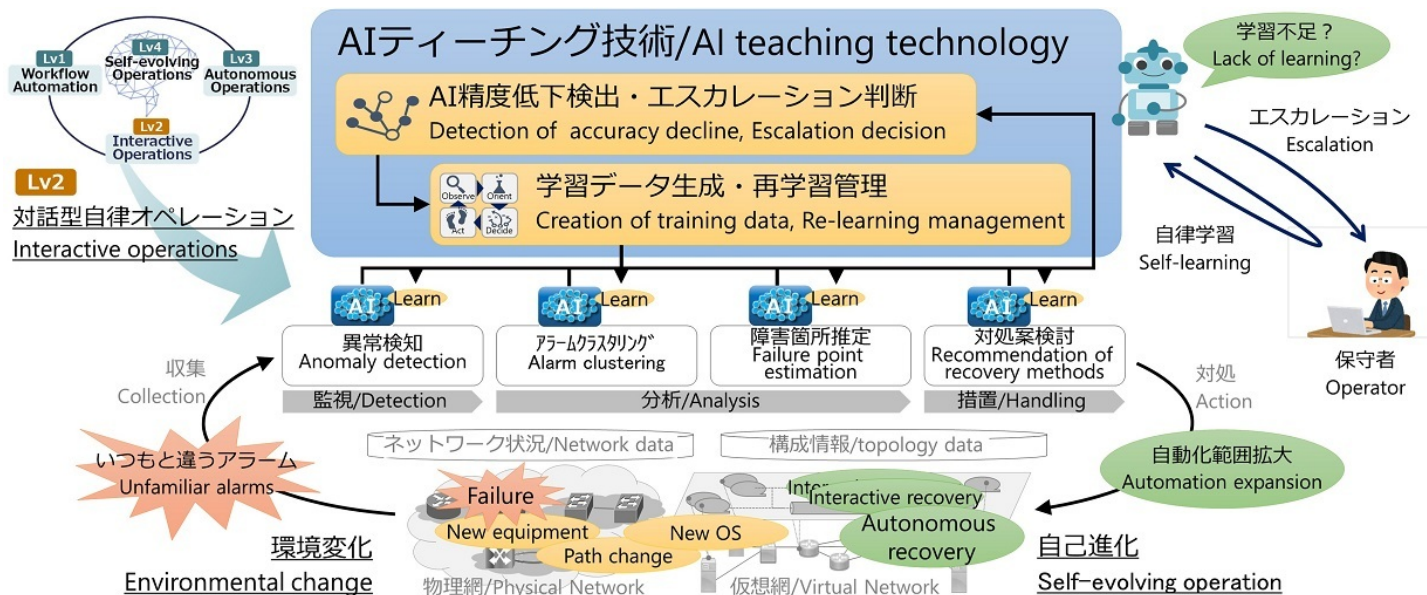




AIが保守者の行動を自律学習することで自動化範囲を拡大します

概要

AIによる運用（AIOps : AI for IT Operations）を実現するために、AIに環境変化（例：装置変更）をどう教えていくかが課題となります。NTTでは環境変化によるAIの精度低下を検出し、保守者にエスカレーション、保守者の行動から自律学習を行う「AIティーチング技術」を研究しています。



出展社

日本電信電話株式会社

特徴

- 熟練の保守者が外部情報を参照して行う判断を模擬し、AIの精度低下を検出する技術
- 保守者の対処記録から、学習データを生成し、AIの適切な再学習方法を導く技術

利用シーン

- 環境変化に伴うAIの学習不足が疑われたら、保守者にエスカレーションし安全運用
- 保守者の対処をお手本として、AIが自律的に再学習しNW保守業務の自動化範囲を拡大

今後の展開

- AIティーチング技術の実証のため、実際のサービス保守ユースケースを対象として、NTT研究所で研究開発を進める複数のAIを組み合わせたPoCを検討中です。

問い合わせ先：
rdforum-nw-ml@hco.ntt.co.jp